



1) 2024年度日本頭痛学会 喜多村賞「重症筋無力症患者における頭痛に関する実態調査」

石鎚 啓先生 ご寄稿

2) 第19回(2026年度)日本頭痛学会専門医試験について

3) Headache Master School Japan(HMSJ)2026 Spring Semester Gifuについて

4) アセメタシン(ランツジール®)の頭痛疾患に対する適応外使用における保険診療上の取り扱い 拡大について

5) 頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介します



1) 2024年度日本頭痛学会 喜多村賞「重症筋無力症患者における頭痛に関する実態調査」

石鎚 啓先生 ご寄稿

慶應義塾大学医学部神経内科

石鎚 啓



このたびは喜多村賞という名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。ご選考いただいた先生方、ご指導いただいた諸先生方、そして日々の診療や研究を支えてくださっている皆様に、心より御礼申し上げます。

私が頭痛診療を志したのは、頭痛がきわめてありふれた症状でありながら、患者さんの生活や社会活動に大きな影響を及ぼしうる疾患であると実感したことがきっかけでした。外見からはつらさが伝わりにくく、周囲の理解を得にくい一方で、適切な診断と治療によって患者さんの生活が大きく改善することも少なくありません。その奥深さと、診療の意義の大きさに惹かれ、現在まで頭痛診療に取り組んでまいりました。

近年、頭痛診療は大きく進歩し、新たな治療選択肢も広がってきました。一方で、実臨床では、個々の患者さんの背景や併存症、生活状況を踏まえた治療選択が重要であり、なお多くの課題が残されていると感じています。私は、日常診療の中で得られる臨床的な気づきを大切にしながら、実臨床に根ざした研究を通じて、よりよい治療選択や長期的な予後改善につながる知見を発信していきたいと考えています。

頭痛は、適切に向き合うことで患者さんの人生を大きく支えうる分野です。今後も、診療・研究・教育を通じ

て頭痛医療の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく
お願い申し上げます。

2) 第 19 回(2026 年度) 日本頭痛学会専門医試験について

第 19 回(2026 年度)日本頭痛学会専門医認定試験が下記の要領で行われます。受験を希望される方は、
受験資格をご確認のうえ所定の手続きを行ってください。

なお、受験資格・申請書類などの詳細は、日本頭痛学会ホームページをご参照ください。

1. 試験日時: 2026 年 8 月 8 日(土) 10:00~16:00
2. 試験会場: 都市センターホテル (〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1)
3. 試験方法: マークシート方式による筆記試験(200 問出題)
4. 申請書受付期日: 2026 年 5 月 31 日(消印有効, 厳守)

3) Headache Master School Japan(HMSJ)2026 Spring Semester Gifu 開催のお知らせ

今期の春季 HMSJ は岐阜県で開催されることとなりました。開催は、現地参加と Web 参加の両方が可能な
ハイブリット形式です。現地参加の定員は先着順で 80 名ですので、ご希望の場合はお早めに申し込みください。
なお、Web 参加の定員はありませんので当日のご来場が難しい場合はご利用ください。

頭痛専門医を目指す先生方は、HMSJ の参加が教育認定病院での研修歴の一部に代替されます(詳細はホ
ームページをご確認ください)。また、頭痛専門医の先生方は、HMSJ の参加によって専門医更新のための研修
認定単位 10 単位が付与されます。ただし、いずれも HMSJ の全日程を現地参加もしくは配信視聴のうえ、
ポストテストに合格する必要があるのでご注意ください。

1. 開催日: 2026 年 6 月 21 日(日) 9:00~16:30(予定)
2. 会場: 長良川国際会議場 4 階
〒502-0817 岐阜市長良福光 2695-2
3. 募集期間: 2026 年 4 月 17 日(金)~5 月 22 日(金) (締切厳守)
4. 受講費: 20,000 円(事前振り込み)
5. 実行委員長: 下畑 敬子先生 (朝日大学病院 麻酔科教授)
6. ホームページ: <https://hmsj.net/2026-1/index.html>

※参加申込方法の詳細は上記のホームページをご参照ください。

4) アセメタシン(ランツジール®)の頭痛疾患に対する適応外使用における保険診療上の取り扱い 拡大について

アセメタシン(商品名:ランツジール®)は、インドメタシンのプロドラックである非ステロイド性抗炎症・解熱・鎮痛薬ですが、このたび、頭痛性疾患に対する適応外使用を認める通達が厚生労働省より 2026 年 2 月 25 日付けで発出されました(保医発 0225 第一号)。本通達は、いわゆる「55 年通知」による薬理作用に基づく適応外使用を認めるもので、頭痛性疾患として「片頭痛」、「緊張型頭痛」と、インドメタシン反応性頭痛である「発作性片側頭痛」、「持続性片側頭痛」、「一次性咳嗽性頭痛」、「一次性運動時頭痛」、「一次性穿刺様頭痛」に対する使用が許可されました。これにより、インドメタシン反応性頭痛に対しては保険診療で治療が認められる初めての薬剤となります。詳細は頭痛学会ホームページをご参照ください。

<https://www.jhsnet.net/pdf/20260327.pdf>

5)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介

- 小児・思春期の反復性片頭痛患者に対するフレマネズマブの有効性と安全性

Hershey AD, et al. Fremanezumab in Children and Adolescents with Episodic Migraine. N Engl J Med 2026;394:243–252.

掲載日:2026/1/27

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_169.pdf

- 片頭痛発生時の三叉神経系の侵害受容に及ぼす CGRP の役割

Melo-Carrillo A, et al. Elucidating the nociceptive role of CGRP in migraine headache. Brain. 2026 Jan 8;awag008. doi: 10.1093/brain/awag008.

掲載日:2026/3/23

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_170.pdf

【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見、問い合わせは <jhs-office@shunkosha.com>までお願いいたします。